

# ラックス系ランタンキュラス有望系統の系統特性検定

今回特性検定を行ったラックス系ランタンキュラス全9系統は、十分な切り花本数と切り花形質を有しており、有望な系統です。

## 背景・目的

- ランタンキュラスは、年末から春先にかけて色や花型のバリエーション豊かな品種の出荷が行われており、その中でもラックス系は実需者からの需要が高いです。
- そこで、県内育種家と連携し、県先行販売に向けた有望系統の特性調査を行いました。

## 成果の内容

- 選抜した9系統は、十分な切り花本数と切り花形質を有しており、実需者の評価も高いです。(表1～3)

表1 1番花の切り花形質

系統名	1番花開花日 (月、日)	切り花本数 (本/株)	切り花長 (cm)	茎長 (cm)	茎径 (mm)	側枝数 (本)
黄1	1月6日	8.2 ± 0.8	56.6 ± 2.4 <sup>z</sup>	53.7 ± 2.4	5.3 ± 0.8	3.2 ± 0.3
黄2	1月5日	7.5 ± 1.1	57.1 ± 1.7	51.8 ± 2.6	5.6 ± 0.1	2.8 ± 0.1
パープル1	2月8日	10.8 ± 1.8	62.7 ± 1.8	59.4 ± 1.8	7.7 ± 0.8	3.6 ± 0.3
パープル2	1月19日	12.5 ± 1.0	58.0 ± 4.0	54.5 ± 4.0	6.2 ± 0.7	2.8 ± 0.3
白	3月17日	15.5 ± 1.2	64.4 ± 2.4	60.3 ± 2.2	11.5 ± 1.0	3.3 ± 0.2
クリーム1	2月5日	9.3 ± 1.4	61.9 ± 8.2	58.6 ± 8.3	6.2 ± 1.6	3.0 ± 0.4
クリーム2	1月13日	15.1 ± 2.3	56.9 ± 4.3	53.6 ± 4.1	6.0 ± 0.5	2.6 ± 0.4
ピンク1	1月3日	9.6 ± 1.0	47.2 ± 1.9	44.4 ± 1.8	4.2 ± 0.0	1.8 ± 0.2
ピンク3	12月23日	7.3 ± 0.3	57.9 ± 1.3	55.4 ± 1.1	5.4 ± 0.2	2.7 ± 0.1
ピンク8	2月17日	10.7 ± 1.2	59.4 ± 4.8	56.3 ± 4.6	7.8 ± 1.0	2.8 ± 0.1
ゴールド1	1月19日	12.2 ± 0.7	62.2 ± 1.7	59.5 ± 1.4	7.3 ± 0.4	3.5 ± 0.4
ゴールド2	1月5日	7.5 ± 0.9	55.7 ± 1.3	52.8 ± 1.4	6.4 ± 1.1	2.3 ± 0.3
オレンジ1	2月7日	12.9 ± 2.1	63.1 ± 4.5	60.2 ± 4.3	8.0 ± 0.6	3.2 ± 0.2
オレンジ2	1月26日	10.6 ± 1.1	58.4 ± 2.7	55.3 ± 2.8	6.4 ± 0.5	3.8 ± 0.4
オレンジ3	2月15日	8.3 ± 0.9	56.1 ± 1.3	52.9 ± 1.5	8.4 ± 0.5	3.0 ± 0.2
サーモンピンク	1月10日	9.0 ± 0.5	48.7 ± 1.9	44.8 ± 2.2	5.8 ± 0.4	2.9 ± 0.3
赤1	1月10日	15.6 ± 1.1	63.3 ± 1.3	58.5 ± 1.3	5.1 ± 0.0	2.7 ± 0.1
赤2	1月10日	8.8 ± 0.4	76.3 ± 6.0	73.2 ± 4.7	6.4 ± 1.0	2.8 ± 0.3
ロティス	1月15日	10.6 ± 1.1	80.5 ± 2.6	78.2 ± 2.1	9.1 ± 0.4	3.0 ± 0.3
サティロス	12月13日	8.3 ± 1.1	57.3 ± 0.9	53.8 ± 0.7	5.7 ± 0.3	3.2 ± 0.2
ティーパー	1月25日	7.5 ± 0.4	56.7 ± 5.1	53.8 ± 5.1	6.0 ± 1.3	2.9 ± 0.3
アリアドネ	3月22日	4.7 ± 1.3	57.4 ± 0.6	54.3 ± 0.6	8.0 ± 0.5	3.2 ± 0.1

z:平均±標準誤差 (n=3)

表2 育苗のしやすさ、収量、実需者の評価

系統	収量	実需者の 評価	選抜系統
黄1	○	4.0	○
黄2	○	3.7	
パープル1	○	4.3	○
パープル2	○	3.5	
白	○	3.6	○
クリーム1	○	3.8	○
クリーム2	○	3.0	
ピンク1	○	3.6	
ピンク2	○	3.4	
ピンク3	○	3.8	○
ピンク®	○	4.2	○
ゴールド1	○	3.3	○
ゴールド2	○	3.4	
オレンジ1	○	3.9	
オレンジ2	○	3.5	
オレンジ3	○	4.0	○
サーモンピンク	○	3.8	
赤1	○	3.6	○
赤2	○	3.4	

花の形質：県内外の実需者による評価を5段階で数値化したもの。数字は平均値  
収量：株あたりの切り花本数が10本以上：○、5～10本：○、5本以下：△



(写真)：左 試験中のハウス内の様子  
中央 クリーム1  
右 オレンジ3

## 成果の活用方法(又は期待される効果)

- 新たに県先行利用のラックスシリーズを導入する際の基礎データとして活用できます。
- 普及対象地域・戸数 沿岸地域のランタンキュラス生産者 2戸

## 留意点

- 1番花開花日は試験場での結果のため、導入地域では気象条件を考慮してください。また、品種は市場ニーズを考慮して導入することが望ましいです。

関連研究成果カード：2022年度前期 番号8、関連事業名：花きの産地革新のための効率的・革新的技術開発事業(県単)  
研究期間：2021年度